

学校だより

京都府立南山城支援学校

美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ

校長 丸岡 恵真

花吹雪舞う季節になりました。

この春、“令和”と元号が変わる今年、本校は創立39年目を迎えることとなりました。常日頃から本校の教育に御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございます。この4月から本校の校長となりました。お子様方の成長を願い、精一杯努めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



さて、新年度がスタートしました。明日の入学式には新入生を迎え、小学部96名、中学部62名、高等部86名、全校児童生徒244名で本校はスタートします。

拙文の題名の言葉は安倍総理が改元の発表時に説明された言葉です。誠に美しい言葉だと感じるとともにまさしく学校がこんな場でなければならないと感じたところです。“文化”というのは元々“耕す”という意味のある言葉だそうですが、田畑を耕し、実りを得る＝“文化”ということになります。

学校こそ今まで培ってきた私たちの“文化”を子どもたちに伝えていく場であり、それは“美しく心を寄せ合う中で”なければならないと思います。

本校の学校教育目標『学び合い育ち合い自立と社会参加の力を身につける』の中の“合う”という言葉の中に相通ずるものがあると思いますが、友だちと“心を寄せ合う”、地域の皆様に支えられ時に貢献もする。

子どもたちは地域に生まれ、やがて自立して地域に生きていく、そういった者として、自分ができることで地域に貢献し、自分だけではできないことは地域の皆様に助けていただく。このことは全く私たち大人と同じですが、“美しく心を寄せ合う中で”こそ良い“文化”や共生社会が育まれていく。



本校校章

つまるところ、本校がより一層仲良く、助け合う学校になることを目指し、一步ずつチャレンジする学校でありたいと思います。保護者の皆様には様々にお世話になりますが、一年間どうぞよろしく願いいたします。